

岩代中学校だより



い わ し ろ

PRIDE

岩代中学校

祝卒業 号

令和5年3月13日

校長 遠藤 康成

おおらかに たくましく ひかりかがやく岩中生 ～日山のごとく、大杉のごとくあれ～



令和4年度 第20回卒業証書授与式

【校長式辞】

さきほど、一人ひとりに卒業証書をお渡ししました。

そこには「卒業証書 中学校の課程を修了したことを証する」と書かれています。これは、あなたが、岩代中学校を卒業したことを証明するものです。言い換えれば、あなたが中学校の学習の全てを終えたことの証なのです。あなたが三年間の中学校生活を、自分の足で一步步歩んできた結果、到達することができました。同時に、この岩代中学校での学習は、この卒業証書授与式をもって、本当の終わりになることを意味します。あなたは、今手にしている卒業証書に、どのような重さを感じ取っているでしょうか。

そして、あなたの名前が記されています。あなたの名前は、世界で一番美しい言葉です。これまで幾度となく名乗り、呼ばれた名前は、これからあなたの人生をかたちづくる大切な言葉になります。そのためには、自分の名前に命を吹き込んでいかなければなりません。私自身も、自分の名前に命を吹き込む営みの真最中です。きっと、自分の名前に命を吹き込むこの営みは、人生の最後の瞬間まで続くのだろと思っています。あなたが自分の名前に誇りを持ち、その名前が、多くの人から愛されるような人生を送ることを心から願っています。

名前の隣には、生年月日が記されています。あなたがこの世に生を受けた日です。その日は、どんな日だったのでしょうか。雲一つない青空が広がっていたでしょうか。それとも、雨が降っていたでしょうか。暑い日だったでしょうか。それとも、雪の降る寒い日だったでしょうか。その日から、十五年の月日が流れました。

あなたが体調を崩した日、そばに寄り添ってくれたのは誰ですか？雨が降る日、学校の送り迎えをしてくれたのは誰ですか？忘れ物をしたとき、そっと届けてくれたのは誰ですか？あなたの悩みを聞いてくれたのは誰ですか？あなたを本気で叱ってくれたのは誰ですか？あなたの成長をいつも見守ってくれているのは誰ですか？あなたの成長を心から喜んでいるのは誰ですか？心に浮かんできたその人が、あなたをここまで育ててくれたのです。あなたの一番の応援者の存在を感じることが、卒業証書の重みにつながるのではないのでしょうか。

あなたの中学校の3年間は、新型コロナウイルス感染症との戦いであっても過言ではありません。中止や延期など、制限の多い生活は、マイナス面ばかりに目が行きがちですが、前例にとられない新しい発想、人と人がつながりを持ち互いに協力すること、自分の利益よりも全体の利益を考えて行動することなど、人が生きていく上で本当に大切なことに気づききっかけにもなりました。これからは、私たちの未来をよりよいものにするために、これらの経験を生かし、社会をつくる仲間として、共に手を携えていきましょう。

本日は、多くのご来賓の皆様、地域の皆様にご臨席を賜り、第20回卒業証書授与式を挙行することができましたことに心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。また、3年間のPTA活動に献身的にご協力をいただきましたことにも深く感謝いたします。お子様の中学校卒業に思いも入ることと存じます。子どもたちは、人生の中で最も大きく成長する思春期の真只中にいます。今後も、子どもたちの健やかな成長のために惜しみない援助をよろしく願いいたします。

岩代中学校を巣立つ卒業生の前途が希望に満ちた輝くものになるよう期待し、式辞といたします。

令和5年3月13日 二本松市立岩代中学校長 遠藤 康成

来賓祝辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられたこと心よりお祝い申し上げます。

三年前の入学式、大きな制服に身を包み緊張の面持ちでここに座っていた皆さんには、まだあどけなさがありました。今日ここに改めて凛とした姿の皆さんを拝見しますと、周囲の大人達が時間の流れに逆行し、幼少期に向かっているのではないかと錯覚するほど、その著しい成長速度に驚かされるばかりです。

皆さんは、入学して早々から未知のウィルスに翻弄され続け、平時の学校生活を知ることなく、今日ここに中学校生活を終えようとしています。貴重な学習経験や交流の場が奪われ、入学時に抱いていた中学校生活への憧れや意欲が希薄になることもあったかもしれませんが、先の見えない不安と葛藤しながらも決して憂えることなく今日を迎えることが出来たのは、他でもない皆さんの努力の賜物であると私は思っています。

岩中生として過ごした3年間はいかがだったでしょうか。思春期や様々な困難が行く手を阻み、これまでに経験のない、やり場のない感情の起伏に戸惑ったこともあったでしょう。反発心が芽生え、周りの助言や声援が煩わしく感じることもあったでしょう。もがいていくうちに現実から目を背け、次第に孤独感を抱き、ある人は無口になり、ある人は作り笑顔で我慢します。一番分理解して欲しい胸の内を言葉にするのは、とても難しく勇気がいる事だったと思います。けれども、これだけは覚えておいて下さい。どんな時も皆さんは、決して一人じゃないということを。常に心に寄り添い、痛みや苦しみを分かち合おうとする人がいることを。いつも近くで見守り応援している人がいることを。なぜなら皆さんは、世界でたった一人のかけがえのない存在だからです。

もし、この3年間でやり残したことがあるのなら、心残りがあっても、過ぎた時間を取り戻すことはできないけれど、これからいくらかでもやり直すことなら出来る。今の君達に手遅れなんて言葉は存在しません。それだけ十代とは、この先の人生においても、とても尊い時間なのです。努力し続ける限り、何度失敗しようとする度でも挑戦することが許される、そんなかけがえのない時間を決して無駄にしてはいけません。皆さんはまだ未熟です。しかし、多くの可能性を秘めています。例え、その時々夢や目標に届かなかったとしても、努力を重ね歩んだ道程は、既に自分を大きく成長させ、そして未来へと大きく前進させてくれています。そのことに気づかせてあげられない私達大人達もまたもがいていきます。

皆さんはこれからそれぞれの道を歩んでいきます。どの道を歩いても乗り越えなくてはならない多くの試練が目の前に立ちまわります。この先、楽しい事も辛いことも沢山待っていることでしょう。

人は喜怒哀楽を巡らせながら生きる生物です。生きていくためには、喜んだり、怒ったり、泣いたり、笑ったりすることが、人の宿命だと割り切ってください。良い時も悪い時も真摯に受け止め、人生をとことん楽しめる、素敵で大人になって欲しいと願っています。

そして、人生は、一期一会です。これから訪れる沢山の出会いと別れに感謝して、その縁と経験を大切にしてください。

校長先生をはじめとする教職員の皆様、関係者の皆様、子供達が3年間大変お世話になりました。思春期や反抗期といった不安定な時期の子供達を叱咤激励し道に迷わぬよう導いていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

結びにここから羽ばたいていく卒業生の皆さんが、岩中生として培った自信や誇りを胸に勇往邁進するその先に、必ずや輝かしい未来があることを心より祈念しまして祝辞といたします。

令和5年3月13日 岩代中学校PTA会長 遠藤 広次



今後の予定（卒業生の未来予想図）

- ♪ 2023年3月 夢と希望を抱き、明るい未来に向けて岩代中を卒業する。
 - ♪ 2026年3月 葛藤、迷い、不安と戦いながら青春を謳歌し、次のステージへ躍進する。
 - ♪ 2028年1月 成人式で級友・恩師と再会。互いのさらなる飛躍を誓い合う。
 - ♪ 2031年3月 社会の一員となり数年。毎日が新しい経験の積み重ね。社会の厳しさも実感。
 - ♪ 2033年3月 卒業から10年。すっかり大人になった自分の人生について深く考える。
 - ♪ 2037年2月 自分の理想を追い続ける人生。その人生を自信をもって語れる人間となる。
 - ♪ 2041年3月 独立し、責任の重さを痛感するが、歯を食いしばりさらに前進する。
 - ♪ 2046年3月 成功も挫折も味わうが、その経験が人間としての厚みを増し力強く生き抜く。
 - ♪ 2053年3月 自分の同級生の子供も達が中学生となり、温かい目で見守る。
 - ♪ 2058年3月 「50にして天命を知る（論語の言葉）」自分の生きる意味を実感し鍛え直す。
 - ♪ 2068年3月 幸せな人生を笑顔でふり返り、誰にでも愛される人となる。
- それ以降 いつまでも「おおらかに たくましく」充実した人生を送る。

